

全酪連会報 6

2020 JUN No.657

ZEN
RAKUREN



若手後継者の本音／
鷲岡輝さん

日本酪農見て歩紀／
(株)タバファーム(長野県伊那市)

酪農トピックス／
東毛酪農業協同組合における
コロナ禍に対応した消費拡大のための
牛乳無償提供! (東京)

人事異動

新型コロナウイルス関連 支援施策

栄えある春の叙勲・褒章

日本の牛乳を救うプラスワンプロジェクト

省力化進むオランダ酪農に見る、
日本酪農魅力アップのヒント

全酪連ギフト商品について



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会

牧場概要

豊橋市は東三河地方の中心都市で、東は三張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に面しており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

また、豊川用水と温暖な気候に恵まれたこの地は、昔より農業が盛んで多種多様な作物が栽培されています。養豚、養鶏などの他の畜産も盛んで、全国でも上位の農業産出額を誇る産地です。

豊橋市中心部には路面電車が走っており、夏場は「納涼ビール電車」が、冬場には車内でおでんを楽しむことが出来る「おでんしゃ」が走ります。

鷺岡牧場（鷺岡輝さん）は愛知県酪農農業協同組合（鈴木康弘代表理事組合長、生乳出荷戸数255戸 令和2年3月末時点）の豊橋支所に所属しています。

家族構成

祖父の毅さん（77歳）、祖母の忍さん（73歳）、父の徹さん（53歳）、母のこず恵さん（45歳）、長男（現在、介護士）、次男の輝さん（20歳）そして三男（高校生）の7人家族です。

牧場沿革

鷺岡家では以前より兼業農家で乳牛を飼育していました。輝さんの祖父である毅さんが高校卒業後（昭和30年中頃）、本格的に酪農に舵を

今回は、愛知県豊橋市鷺岡牧場の後継者鷺岡輝さんにお話を伺いました。

切りました。当時8頭で大規模農家と言われていた中で、鷺岡牧場は8頭以上を飼育していました。

その後、毅さんは昭和42年に忍さんと結婚され、二人三脚で酪農を続けてきました。しかし数年前に毅さんが病気により酪農を続けることが困難になり、地元中央製乳株式会社で働いている徹さん（輝さんの父）が休日に酪農を手伝い、また徹さんの奥さんであるこず恵さん（輝さんの母）が酪農に本格的に関わることとなりました。輝さんは当時、高校生でしたが、この頃から本格的に作業手伝いを始めました。



鷺岡輝さん



鷺岡牧場全景

現在は忍さんとこず恵さん2名を中心に休日は徹さん、輝さんが作業の補助をしています。

労働力

輝さんはこの3月に地元愛知県立農業大学校を卒業し、本格的に搾乳や給餌など酪農全般の作業を行っています。

母のこず恵さんは酪農全般に携わっています。その中で哺乳管理（哺乳担当）、搾乳作業が主となります。忍さんは搾乳作業、給餌作業の補助担当をしています。

特徴

現在、経産牛23頭、育成牛20頭です。牛舎は繋留の対頭式です。

育成に関しては原則、自家育成をしています。自家育成に拘る理由として哺育時から人に馴れさせる事で穏やかな牛を作ることができるということです。また、乳質改善や6次産業化に興味があるためホルスタイン種以外にもブラウンスイス種も導入しています。

就農までの経緯、就農のきっかけ・理由

輝さんは幼少の頃から祖父母の酪農作業を間近で見ってきました。小学校に入る頃には言うまでもなく牛のことが大好きになり、小学校6年生の時には父の徹さんに酪農を継ぐという意

思を強く語っていました。そして自身の進むべき道として地元の渥美農業高等学校を卒業後、愛知県立農業大学校に入学しました。大学校では酪農に関する様々な知識と経験を学びました。そんな大学生活を謳歌している在学中に、祖母の忍さんが脚を骨折する事故が起きました。本来大学校では全員入寮が原則です。しかし大学校の計らいで実家からの通学を認めて頂き、酪農作業を終えた後に通学をすることで、この3月に無事卒業することが出来ました。

周囲の酪農家とのつながりについて

今はまだ改良同志会や青年部には正式に加入していませんが、行事には積極的に参加して繋がりを構築している最中です。豊橋地域だけではなく県内全域、ひいては全国に繋がりを作っていきたく考えています。

今後・将来の目標について

この4月から、隣接する田原市内にある牧場へ2年から3年を目処に実習生として就職することが確定しています。実習のない休日は近隣の牧場へ作業補助や実家の酪農業を手伝うなど、一日も酪農から離れずに日々経験と知識を得ていこうと考えています。

実習が終了した後は実家の酪農を引き継ぎます。事業継承をした暁には輝さんには夢があります。先ずは規模拡大を行うこと。現在の牛舎には最大で40頭搾乳牛を飼養することが可能です。更に牛

若手後継者の本音

Vol.44

[経営概況]

所 属 愛知県酪農農業協同組合豊橋支所(鈴木康弘代表理事組合長)
 家族構成 祖父の毅さん、祖母の忍さん、父の徹さん、母のこず恵さん、長男、次男の輝さん、三男
 飼養頭数 経産牛23頭、育成牛20頭

チャレンジ精神を忘れずに頑張りましょう!

舎の隣に新牛舎を増設して、最大で80頭まで増頭したいと考えています。
 更に夢は広がります。6次産業化への挑戦!道の駅などでシエフト店の出店も行いたいと考えています。

祖母から若手後継者へ一言

酪農の灯を消さずに50年以上酪農に従事してきた忍さんは感慨深く、「孫の輝さんが大学校で学んだ事が現場で生かされていると凄く感じている。これからは若者の時代。昔と今では違う。新しいものをどんどん取り入れて欲しい。」と仰っていました。



全国の若手後継者の皆さんへ一言!



今、豊橋市に限らず全国各地で後継者不足が起きています。生乳生産量は減少する一方です。輝さんは少しでも地域の活性化のため、ひいては日本の酪農を守って行きたいと熱心に語っていました。この豊橋市には20代の後継者が輝さん一人しかいないとの事です。そのためにもやっぱり酪農は地元根付いていかなければならないと。「後継者の皆さん、チャレンジ精神を忘れずに頑張りましょう! 挑戦出来る内に何でも挑戦したほうが良い! 夢は大きい方がやりがいがある!」



この場所に運動場を作ろうと考えています



鷲岡 輝さんと育成牛と一緒に



現在の牛舎の隣に新牛舎を建設をしたいと考えています



牛舎正面



牛舎内部

見て歩紀

No. 325

(株)タバファーム
長野県伊那市

『**ずく**』だしてこそ、**酪農!**
要は**家族と自給飼料**

※**ずく**は長野県の方言で『根性』『働く』『労を惜しまない』などの広義



▲ 後列左から、田畑明氏、奥様の由美子さん、長男の皆さん
前列左から、モンゴル国からの技能実習生・ゲレルマーさんとエンヘーさん

伊那市の紹介

長野県伊那市は県の中南部に位置します。市の東境には南アルプス、西境には中央アルプスといった3,000m級の山が連なり、他県の方が長野県を想像される景観ではないでしょうか。伊那市全体は、伊那谷と呼ばれる盆地の中に形成されており、市面積の82%を森林が占めている自然豊かな土地です。

今回は、長野県伊那市で酪農を営む(株)タバファーム(伊那酪農業協同組合)をご紹介します。

(株)タバファームについて

(株)タバファームが酪農を営む伊那市ますみヶ丘地区からは、伊那市街地と南アルプス・中央アルプスが一望できます。そして牧場の周囲には広大な牧草地が広がります。冬の気温はマイナス10℃以下に、夏には

30℃を超えますが、四季を感じる事ができる土地です。ますみヶ丘地区の成育したトウモロコシの背後にそびえる紅葉したアルプスの風景は、是非全国の皆さんに見ていただきたい風景です。

(株)タバファームは経産牛80頭、育成牛50頭を飼養しています。飼養130頭はすべて自家産です。後継



▲ 牧場から望む中央アルプス



▲ 牧場から望む南アルプス



長野県伊那市



▲ 搾乳は、明氏、由美子さん、大さんが行う

牛は生後およそ10ヶ月まで牧場で育成し、そのあとは隣町の木曾町にある全農長野の三岳牧場へ分娩2か月前まで預託しています。

(株)タバファームは、代表の明氏(全般)、奥様の由美子さん(搾乳、哺育管理)、長男の大きさ(全般)と、モンゴル国から技能実習生として迎

えているエンヘーさんとゲレルマーさん(ともに飼料給与と搾乳補助)が牧場で仕事をしています。

就農の経緯

昭和21年に明さんのお父様が現在の地に入植され、昭和26年に1頭のホルスタイン子牛を導入したことから田畑牧場がはじまりました。

明さんは、田畑家の長男として生まれ、長野県農業大学校を卒業後に家業に就農すると同時に組合の補助ヘルパーに就きました。

昭和56年にお母様が48歳の若さで急逝(明さん18歳時)、その後4年間をお父様一人で経営されていました。

明さんが就農した翌年には通年での自給飼料給与を実現するべく、トップアンローダー式タワーサイロを新設し、規模拡大のため自家育成に取り掛かれました。

昭和62年に48頭対尻式牛舎を新築し、北海道から初妊牛16頭を導入しました。そしてこの年に明さんは由美子さんと結婚。24歳の若さで牛舎拡張や初妊牛導入などの必要資金として、5,000万円を超える借り入れを行いました。それからの3年間は休

まず、仕事後は奥様と牧場経営について話し合い、また明さん自身も改めて酪農を基礎から勉強されたそうです。

この話を詳しく伺うと、当時の事を思い浮かべながら、『とにかく、がむしゃらに働いた、体を動かした。借入金の返済のために乳量を増やすのが正しいのか、費用の削減に取り組むのが正しいのか、(由美子さんと)話した。

先輩の話も聞き、自分の牧場に合うかわからないが、自分の牧場にプラスになるのではないかと感じたことはトライした。失敗は数えきれないが、同じ失敗はしなかった。その時に知識的に学んだこと、体感的に学んだことは、今の自分の経営の根幹になっている気がする。いろいろあったが、3年後には導入資金分の1,500万円を完済できたことは大きな自信に繋がった。』

と、お話しいただきました。その後、平成10年に牛舎を西に延伸増築し、現在の搾乳牛80頭飼養規模となり、令和2年2月に(株)タバファームとして法人化しました。

現在の田畑牧場

自給飼料を通年で給与すべく、25haの圃場を管理し、デントコーンとオーチャードグラスを作付けされて



▲ 複数の粗飼料を多量採食できることが牧場の特徴

います。1頭当りの給与量はデントコーンサイレージ約15kg、牧草サイレージ約10kgです。購入乾草はアルファルファとクレイングラスで、あわせて1日1kgと自給飼料多給型酪農経営を実現しています。

夫婦2人での作業時間が多くなったことから、15年前から外国人実習生を採用しています。現在エンヘーさんは来日4年目、ゲレルマーさんは1年目ですが、いまや牧場に欠かせない存在とのこと。由美子さんも2人と出掛けて気分転換とシヨッピングをしています。

長男の大きさ(まこと)は平成30年に就農しました。大さんは、伊那酪農協青

年部で最も若いですが、将来の伊那酪を支える存在としても期待されています。

この3月には、自家産後継牛の管理をすべて牧場内で賄うべく、育成・乾乳舎を畜産クラスター事業を活用して新築しました。育成頭数を増や



▲ 作業中のエンヘーさんと、ゲレルマーさん



していき、数年後には搾乳舎の増築も検討されています。

地域との関わり

牧場の生命線は？と伺うと、『畑づくり全般に違いない』、そして『体を動かしてこそ、酪農』と。(株)タバファームでは、自給飼料生産作業の内、刈り取りと貯蔵は共同作業を行っています(ますみヶ丘フォルト組合に加入)。適期収穫と早期貯蔵・密封が可能となったことで、良質な自給飼料の給与が可能となっています。この2月には4件共同で新しいハーベスターも導入し、作業依頼者に対してよりよい作業品質の提供と



▲ 新築育成・乾乳舎

効率の良い作業を進めていきたいとのことです。



▲ 導入したハーベスター 今夏から稼働

これから、今後について

飼養管理面では、昨年は乳脂肪率の維持に苦しみました。個体乳量が前年から増えた一方、数か月間乳脂肪率の向上に取り組みました(直近成績は、1頭当り乳量33kg、乳脂肪率3・70%、無脂固形分率8・80%、乳蛋白率3・30%、体細胞数15万)。今年1年間は体細胞数の低減を意識し、乳脂肪率は現状を下げられない様にするとともに、発情の確認と適時の授精に努めていきたいとのことです。

後継者である皆さんに対しても、『牧場の作業だけでなく共同作業にも積極的に参加して、(株)タバファームが周りの応援に助けられていること、また周りの牧場を率先的に応援し互いに協力していくことで、個々の酪農経営を進めていくには地域の酪農を発展させていくことが大切であることを感覚的にも学んでいく』と、お話しいただきました。

最後に

『できるのであれば、若い時に挑戦はした方がいいと思う。失敗しても、同じ失敗は繰り返さないことが大切。行動力やアイデア、頭の柔らかさは若い時にはあるから、トライして欲しい。』、『これまで同様、地域との協和を図り、酪農仲間と協力しながら長く酪農を営んでいきたい。また伊那酪農協には現在12名の酪農後継者がいますが、彼らが情熱と希望をもって酪農を続けていくためには、伝えていけることは惜しまず提供していきたいです。』とのこと。そして、『今まで多忙な作業、大変な借入金返済についてきてくれた妻・家族には感謝しかありません。』とお話しいただきました。

東京
支所発

東毛酪農業協同組合における
コロナ禍に対応した消費拡大のための牛乳無償提供!

群馬県太田市に所在する東毛酪農業協同組合（代表理事組合長：大久保克美）はコロナ禍で消費減退する生乳の消費・啓発をおこなうため「牛乳無償提供」をおこないました。コロナ禍による学乳、業務用の牛乳・乳製品の需要減をうけて、国と中央酪農会議とJミルクが主体となり消費増を狙うことが目的です。

同組合では「低温殺菌乳」を主体とした牛乳・乳製品の製造・販売を行っており、学校給食にも供給をしております。日頃より地域密着の事業展開を実施し「学乳は消費拡売の一丁目一番地」との理念をもとに

「新鮮でおいしい牛乳を子供たちに」との思いから学乳に力を入れております。今回の「牛乳無償提供」では5月12日(火)～5月31日(日)にかけて9市町村に対して学童、デイケアセンター、病院、スーパーなどを中心に、週4回の計120,000本の牛乳の無償提供をおこないました。コロナ禍により牛乳・乳製品の消費急減は大きな危機となっておりますが、その打開とさらなる普及啓発をおこなうため今後も積極的に地域に根差した展開をおこなっていきます。（Y.K）



医療施設、児童福祉施設、フードバンク、高齢者施設などへの牛乳の無償提供は、このほかにも、宮城県をはじめとする県牛乳普及協会や、熊本県酪連、石川県酪、福島県酪、岐阜県酪、千葉県酪連など全国の多くの会員や酪農関係団体が実施、あるいは予定をしています。皆様のご協力に感謝いたします。

人事異動

新	旧	氏名
<p>■令和2年5月1日付異動発令</p>		
総務部長 兼 組織対策課長	仙台支所長	白鳥 建樹
仙台支所長	仙台支所 次長 兼 購買畜産課長	蒲田 泰介
仙台支所 購買畜産課長 兼 北東北事務所長	仙台支所 北東北事務所長	山中 新

新型コロナウイルス関連 支援施策

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて自粛生活が長引く中で、学校の臨時休校（学校給食の休止）や、外食産業、宿泊業者などの休業・時短営業などが行われ、業務用の牛乳・乳製品の需要が大幅に減少しています。

このような状況を踏まえ、国は、新型コロナウイルス感染症の影響への支援策を措置しました。

本稿では、酪農に関する主な支援策をまとめました。

学校給食用牛乳の供給停止に伴う需給緩和対策事業

学校給食用牛乳向けの生乳の大規模なキャンセルが発生し、配乳の再調整が発生することにより、酪農乳業への大きな影響が生じています。

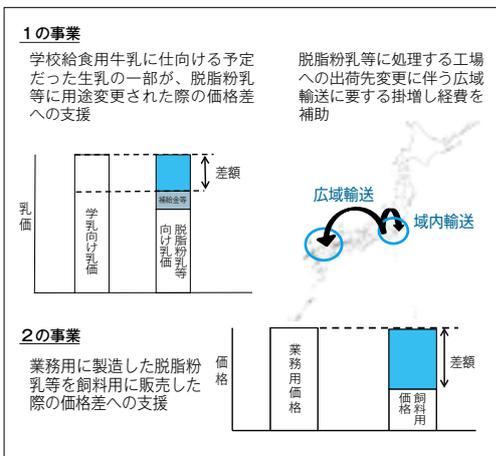
生産者向け対策として、学校給食用牛乳向け生乳を脱脂粉乳・バター等向け生乳に仕向け変更することに伴う価格差に相当する額を支援します（定額）。また、学校給食用牛乳向け生乳を脱脂粉乳・バター等向け生乳に仕向けるための生乳の広域輸送に要する経費を支援します（定額）。

乳業者向け対策として、乳業者等から買い取った脱脂粉乳等を飼料用として飼料会社等へ販売した場合に生じる価格差を支援します（定額）。また、この取組に必要な脱脂粉乳等の保管、入出庫及び輸送に要する経費を支援します（定額）。

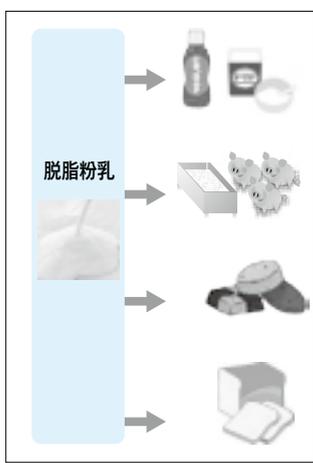
生乳需給改善促進事業

インバウンドの減少やイベント・外出の自粛等により、業務用を中心に牛乳乳製品の需要が大きく減少している中、生乳を脱脂粉乳・バターに仕向けることで需給調整が行われていますが、脱脂粉乳の在庫数量は高水準にあります。

生乳の需給調整機能を維持するため、



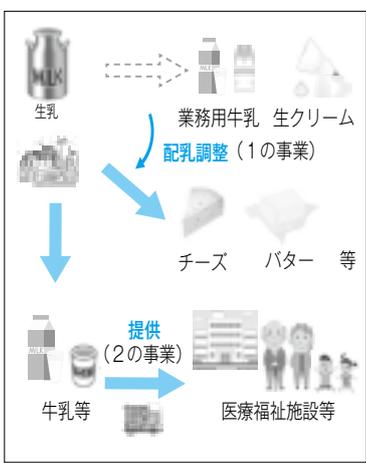
乳業者が脱脂粉乳等を飼料用等へ用途変更することによる価格差に相当する額を交付する取組を支援します。



生乳需給調整緊急支援事業

業務用需要が減少し、生乳は長期保存可能な脱脂粉乳等の加工用に仕向けて需給調整を行っているものの、今後、需給調整が難航し、生産された生乳が行き場を失うおそれがあります。生乳の需給調整を円滑に実施する体制を整えるために以下の支援を行います。

乳業者が、長期保存可能なチーズ等を製造することで積極的に配乳調整に



協力する取組に対して支援します。

また、需給調整を推進するために医療・福祉施設等に牛乳等の無償提供を行い実施する牛乳等の消費拡大の取組を支援します。

新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場等における経営継続対策事業

農場において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した、あるいは従事者に濃厚接触が確認されたなどの場合、経営継続のための酪農ヘルパー等の代替要員の派遣等に支援します（定額。ただし代替要員1人1日当たり15千円を上限など）。

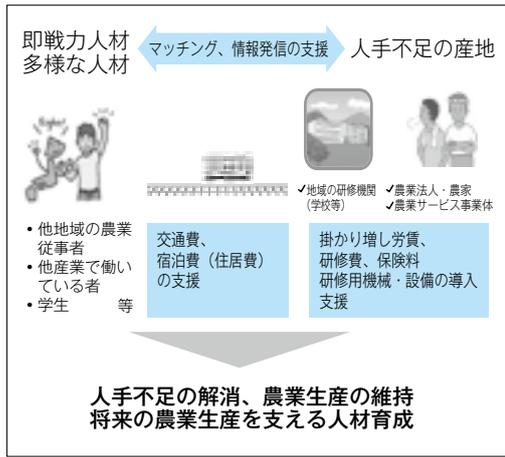
また、発生農場の経営継続を図るため、その家畜の公共牧場等への輸送や管理委託費の支援（定額。ただし、乳用牛の輸送費は、往復7千円/頭、管理委託費は315円/頭/日を上限など）や、発生農場等の消毒又は感染拡大防止のための対応に必要な器具機材等の導入要する経費の支援を行います。

農業労働力確保緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により外国人材の入国制限等も含めて人手不足となり、農作業に支障が出ている農業経営体等に対して、代

替人材として農作業の経験のある即戦力人材や他産業従事者、学生等の多様な人材を受け入れ、農作業に従事していただけるよう、措置します。

人手不足経営体が代替人材を雇用する際に必要となる掛かり増し経費等（定額）、他産業従事者、学生等が援農・就農の前後に研修機関や農業経営体等で研修を受ける際の活動費等（定額）の支援を行います。



学校臨時休業対策費補助金

臨時休業期間中における学校給食休止への対応として、学校給食休止に係る学校給食費を保護者に対して返還等するための経費等を支援します。

補助される経費のうちの一つに、学校の設置者により事業者に対して

既に発注されていた食材にかかる違約金等も対象としています（補助対象経費の4分の3）。

持続化給付金

感染症拡大により、営業自粛等により特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金が給付されます。

持続化給付金は、業種横断的に、個人・法人（農事組合法人、農協等も含む）を問わず、農林漁業者も広く対象となる制度です（大企業は対象外です）。個人事業者は100万円上限、法人は200万円上限。

これらのほかに、一般社団法人中央酪農会議も、通常、牛乳等を提供・販売してない施設等に対して行う無償提供に係る経費について指定団体に対して助成する「牛乳等緊急対策事業」を行っています。

今後も、感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、行政・関係団体・生産者等が一体となり、酪農家が生産した生乳が新型コロナウイルスの影響で行き先を失うことのないよう、取り組んでまいります。

事業名	支援分野	支援の内容	担当及び問い合わせ先
【学校給食用牛乳の供給停止に伴う需給緩和対策事業】 (ALIC 事業) (令和元年度予備費 2,299 百万円)	学校給食用牛乳向けから脱脂粉乳等向けへの仕向け変更に伴う生産者対策	学校給食用牛乳向け生乳を脱脂粉乳等の用途に仕向け変更した場合に生産者に生じる乳代価格差への支援や、出荷先変更に伴い広域輸送に要する掛かり増し経費への補助等	農林水産省生産局 牛乳乳製品課
	脱脂粉乳等の用途変更や学校給食用牛乳の処理に伴う乳業者対策	需要のある飼料用へ用途変更した場合に乳業者に生じる販売価格差への支援等	
【生乳需給改善促進事業】 (ALIC 事業) (令和 2 年度 5,020 百万円)	脱脂粉乳の業務用から飼料用等への仕向けの変更を支援	乳業団体や生産者団体等が、脱脂粉乳を飼料用等の需要がある分野で活用する取組を支援	農林水産省生産局 牛乳乳製品課
【生乳需給調整緊急支援事業】 (ALIC 事業) (令和 2 年度 4,034 百万円)	生乳の長期保存可能なチーズ等向けに仕向けを支援 (配乳調整協力支援対策)	チーズ等の製造により、生乳の円滑な配乳調整に協力した乳業者に対する協力金の交付に要する経費や製造した乳製品の保管に要する経費への支援	農林水産省生産局 牛乳乳製品課
	チーズ等の製造能力が超過しないよう、牛乳等の消費拡大の取り組みを支援 (牛乳等消費拡大対策)	牛乳等を医療福祉施設、フードバンク、児童福祉施設等に提供する取組に要する経費への支援	
【新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場等における経営継続対策事業】 (ALIC 事業) (令和 2 年度 814 百万円)	新型コロナウイルス感染症が発生した畜産農場等への代替要員の派遣等を支援	発生農場の事業継続のための代替要員（酪農ヘルパーを含む）等の派遣や、家畜を公共牧場等に緊急避難させるための経費の支援等 発生農場の清浄化や感染拡大防止のための消毒等に係る経費の支援等	農林水産省生産局 牛乳乳製品課
【農業労働力確保緊急支援事業】 (令和2年度補正予算額4,646百万円)	外国人材の不足を補う代替人材による援農の掛かり増し経費を支援	農業経験者等の代替人材が援農する際の掛かり増し経費等を支援	農林水産省経営局 就農・女性課
	外国人材の不足を補う代替人材の募集を支援	人材を集めるために農業経営体や地域のJA等が取り組む、情報発信等に必要経費を支援	
【学校臨時休業対策費補助金】	給食発注の取り消しで発生した違約金を学校設置者が納入業者に円滑に支払えるよう支援 (学校給食費返還等事業)	事業者に対して既に発注されていた食材にかかる違約金等の補助	文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課
【持続化給付金】	事業の継続を下支えするための支援（農業者も対象）	中堅企業、中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者等、その他各種法人でひと月の売上が前年同月比 50% 以上減少している事業者等	経済産業省 中小企業金融・給付金相談窓口

栄えある 春の叙勲・褒章

政府は4月29日、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。
酪農関係からは、次の方々を受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げます
とともに、益々のご活躍をお祈りいたします。



●旭日双光章●

岩竹 重城氏

元 広島県酪農業協同組合 代表理事組合長
元 広島県牛乳普及協会 会長
元 中国生乳販売農業協同組合連合会 副会長
元 一般社団法人全国酪農協会 監事



●黄綬褒章●

石川 正美氏

現 栃木県酪農業協同組合 代表理事組合長
現 栃木県酪農協会 会長
現 関東生乳販売農業協同組合連合会 代表監事
現 一般社団法人全国酪農協会 理事



人見 英作氏

現 京都農業協同組合 理事
元 南丹酪農農業協同組合 理事

日本の牛乳を救う プラスワンプロジェクト

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自粛要請などで、学校給食や外食産業における牛乳や乳製品の消費の更なる減少が懸念されています。

農林水産省は、酪農家を支えるため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を2020年4月21日より開始しています！

国内の牛乳・乳製品の需給状況

新型コロナウイルス感染症が拡大し、休校による学校給食向け牛乳のキャンセルや商業施設の休業などによる消費減少に対しては、生乳をバターやチーズといった乳製品へと加工することによって、行き場を失う生乳が出ないよう、生産者団体と乳業メーカー、農林水産省が一体となって取り組んできたところです。

しかしながら、4月7日の緊急事態宣言（対象：7都府県）及びそれに伴う休業要請を境に、業務用の需要が大きく落ち込んでいます。さらに、4月16日には、緊急事態宣言の対象地域が全国へ広がられました。

今後、生乳生産が6月までのピークに向けて更に増加していく中、乳業メーカーの乳製品の製造能力を超えてしまい、行き場を失った生乳を廃棄せざる

を得ない状況に陥るおそれがあります。

農林水産省としては、この6月までの生乳生産のピークを乗り切ることができれば、生乳の廃棄といった危機を回避できると考えています。

消費者の皆さんへのお願い

生乳生産にあたっては、乳牛の病気を防ぐため搾乳し続ける必要があり、工場で生産される産物と違って、生乳の生産量は短期的にコントロールできません。

このため、生乳の廃棄といった食品ロスを生じる事態や乳牛を減らすことなく、この難局を乗り切るために、お買い物の際に牛乳やヨーグルトを普段より1本、特に育ち盛りの方は更にもう1パック多く購入いただければ、酪農家への応援につながります。

ぜひ皆様方の御協力をお願いいたします。

日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」

▶ https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/plusone_project.html



メッセージ動画

牛乳乳製品課からのお願い

▶ <https://www.youtube.com/watch?v=NIIPhHst-nU>



BUZZ MAFF with 酪農ガール（牛乳をモ〜1杯に挑戦!）

▶ https://www.youtube.com/watch?v=pP2_U8Ok8yQ



農林水産省

会員役職員や生産者の皆様も、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を、まわりの方々に周知していきましょう！



省力化進むオランダ酪農に見る、 日本酪農魅力アップのヒント

「儲かってさえいれば後継者は入ってくる」と言われてきましたが、ここ数年の酪農所得回復の状況下においても、後継者不足や労働力不足は改善どころか悪化の一途にあります。経営を受け継いだ後継者も、先行きの見えない酪農情勢や労働力不足から、規模拡大を伴う新たな投資に慎重な姿勢が見られます。

昨秋、「Jミルク」「国際酪農比較研究会」のプロジェクトでオランダを調査する機会がありました。その調査結果に基づき、日本酪農の魅力アップのためのヒントを探ってみたいと思います。

オランダ酪農の特徴は「集約化」と「効率化」です。日本の九州ほどしかない狭い国土で、日本の2倍の生乳生産量を確保しています(表1)。限られた土地の中で、資金も労働力も最小に抑えようとする試みが続けられたことにより、労働生産性(労働時間1hに対する生乳生産量)は日本の約4倍となっています(図1)。

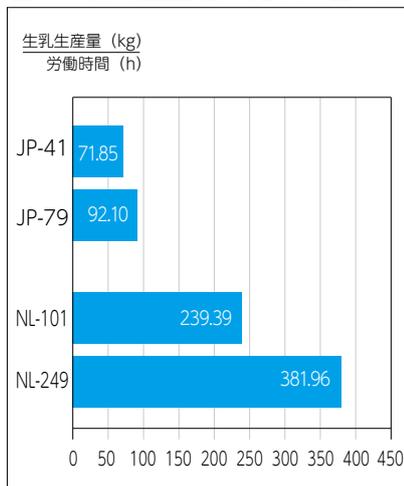
また、酪農家とのインタビューの中で、オランダでは、以下3点が「あたりまえ」となっていると感じました。

表1 酪農概況の比較

	オランダ	日本
酪農家戸数	1万7千戸	1万5千戸
経産牛頭数	160万頭	84万頭
生乳生産量	1,410万t	730万t
個体乳量	8千812kg	8千600kg
経営規模	94頭	北海道128頭 都府県56頭

資料) オランダの数値は ZuivelNL「Dutch dairy in figures (2018)」より作成
日本の数値は農林水産省「畜産統計」「乳製品統計」(H30)より作成

図1 労働生産性の比較(日、蘭)



出典)「酪農乳業の国際比較研究会報告書(2019年度)」より

- ① 妻は酪農をしないことが多い
- ② 200頭規模くらいまでなら1人で作業をこなす
- ③ 1週間の連続した休みを年2回取得する

これこそが、酪農を豊かにする重要な要素だと考えられます。では、どうしてこれらのことが可能なのでしょうか？

これには3点ほどポイントがあります。1点



写真1 フリーストール牛舎(200頭規模)
オランダではつなぎ式牛舎は5%程度しかなく、写真のようなフリーストール牛舎が一般的。牛舎構造は基本的には日本と変わらないが、建築基準の違いから、柱の太さが細く、数も少なめである。



写真2 放牧地/採草地
牛舎周辺に起伏の無い平坦な土地が広がっており、日中は放牧地、夜間は牛舎内で飼養管理を行う農家が多い。

目は、「搾乳ロボットの普及率が高い」点です。国内でロボットの開発・生産を行っているので、機械の価額が日本より安価であり、初期投資を低く抑えることが出来ます。その結果、日本の普及率約2%に対し、オランダは約25%と大きく差があります。

2点目には、「コントラクターの充実」が挙げられます。日本では任意組織によるコントラクターが中心で、オペレーターは酪農家が勤めているケースが多いため、本来の「作業外部

化」とは言い難い状況です。一方、オランダでは施設や機械購入に関する補助金がないことから、「なるべく機械は買いたくない」という酪農家心理から、必然的にコントラクターが求められており、現在、国内に3,000社の民間コントラクター会社が存在しています。もちろん、酪農家が出役することはありません。実は、オランダでは土地代が高騰し、新規就農が難しい状況なので農業関係の仕事をした人の職場としてコントラクターが認知され

ています。ただ、コントラクター会社の数が多いため、各地域での競合が激しく、各社は受託作業の質を向上させることで農家との信頼関係を深める一方、飼料・肥料の販売を行うことにより利益を確保しているのです。

3点目は牛舎内作業の「単純化」「地域平準化」が進んでいるという点です。日本の作業風景と違うのは、①哺育、育成の作業には時間を掛けない(哺育は哺乳ではなくバケツで行う)、②牛の追い込みや除糞作業が不要(流下式のスラットバーンが普及)、③搾乳手順が単純な点である。特に搾乳手順については、乳頭洗浄やプレディッピングを行わないミルクカーを装着するだけの簡易な方法(オーストラリアやニュージーランドで一般的に行われている)で行う牧場が少なくありません。

このように作業が「単純化」「地域平準化」されていることから、コントラクターや従業員が農場に携わりやすい環境を作ることができ、ロボット搾乳のような機械の導入が進んだと考えられます。

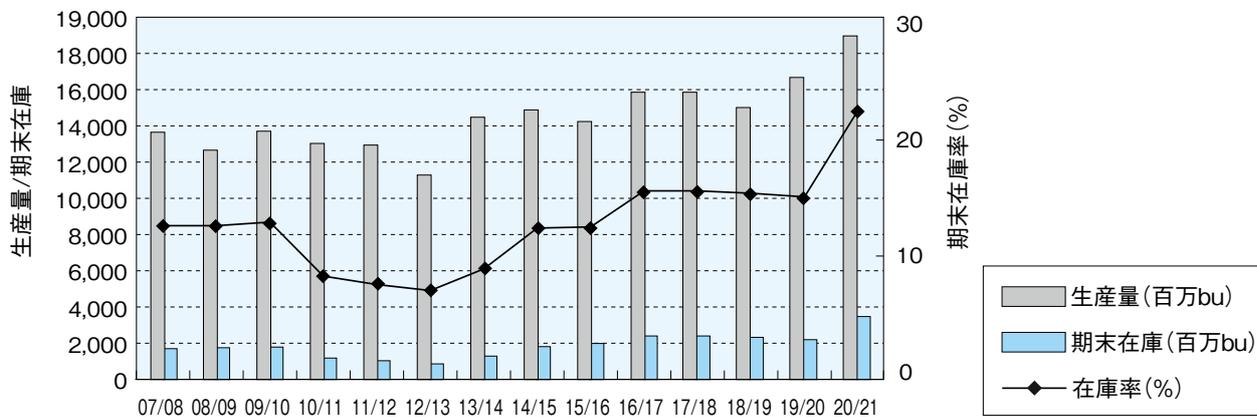
日本酪農の魅力アップさせるためには労働力不足の解決が不可欠です。酪農経営における技術改善のベクトルを「高度化」だけでなく、「単純化」「地域平準化」も加味することにより、雇用、ヘルパーそしてコントラクターを増やす土壌を作ることが出来るのではないのでしょうか？

(総合企画室 丹戸靖)

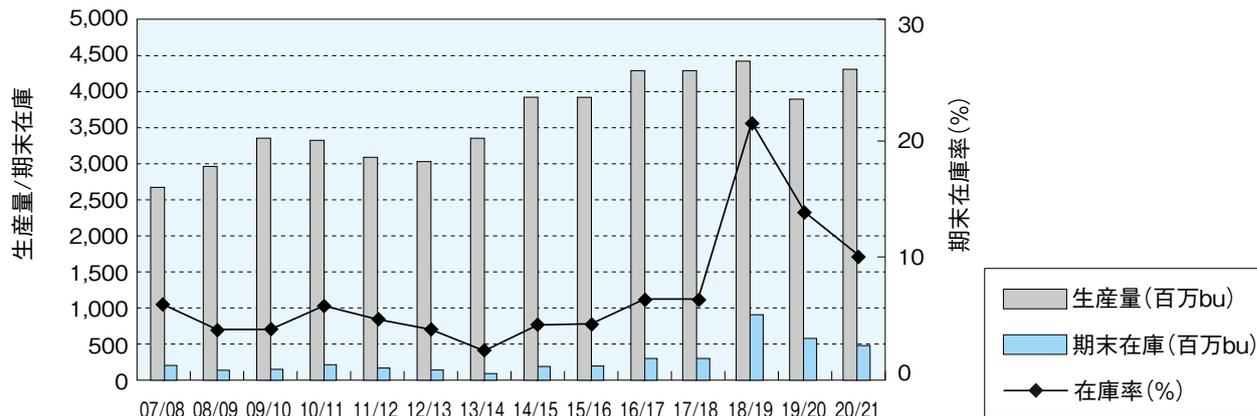


		19/20年産	20/21年産
5月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	89.7	97.0
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	167.8	178.5
	生 産 量 (ブッシェル)	159億2800万	181億1,800万
	需 要 量 (ブッシェル)	138億3,000万	148億
	期末在庫 (ブッシェル)	20億9,800万	33億1,800万
	在 庫 率	15.2%	22.4%
トウモロコシ 相場動向	トウモロコシ価格は305~325¢水準で落ち着いている。しかし5月上旬に入り、中国による米国産メイズの大量買付、エタノール工場の再稼働の可能性により、サプライヤー勢は価格を押し上げてきている。また、エタノール工場に続き、米国大手の食肉加工場の限定的な稼働再開が見られ始めており、需要回帰の後押し材料となっている。原油も底を打って反発していることから今後は堅調に推移していくと見通し。		
大豆粕相場動向	シカゴ相場は軟調に推移しているものの、中国向けブラジル産大豆の船積遅延により、輸入の主となる中国産の発生が不安定なため大連相場は堅調に推移している。国産は食用油の外食需要大幅減少に伴い2~3割程度生産量が減少しており、相場も強含みで推移している。		
槽糠類	【一般フスマ】 家庭用の小麦粉需要は堅調であるものの、業務用向けの需要が大きく減少しておりふすまの需給は逼迫気味となっている。今後、他の原料事情に伴う配合割合の増加も見込まれるため更なる逼迫懸念がある。		
	【グルテンフィード】 ビールや飲料向け需要激減に伴いスターチメカ稼働が低調となり、発生期であるにもかかわらず逼迫傾向にある。年末に向け非常に逼迫する懸念がある。		
海上運賃	海上運賃は米国や一部欧州を筆頭に経済活動再開に向けた動きが出ており、実際に米国内の車の移動が増え、ガソリン需要は回復傾向に迎っている。故に原油相場は反応しており、底辺から反発し、今後は緩やかに上昇していくことが予想される。パナマックス市況はコロナ蔓延により積み上がった中国国内の鉄鉱石が経済活動再開により徐々に切り崩されており、再び輸入し始める動きが出ている。そのため輸入が再開されるとケーブサイズの本船が活発化→パナマックスも連れられて上昇していく見通し。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



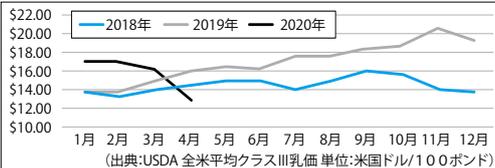
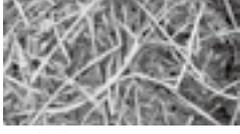
米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和2年5月

北米コンテナ船情勢	<p>4月にGRI（海上運賃一斉値上げ）を予定していた各船社は、一部で実施日延期や減額をしましたが、概ね1コンテナ当たり\$50から\$100の値上げがされています。船腹は逼迫しており5月にもGRIを予定している船会社もあり引き続き注視が必要です。直近の原油価格の下落に伴い、一部の船社ではLow Sulphur Fuel Compliance Charge（低硫黄燃料追加料金）などの調整金を1コンテナあたり\$10から\$25ほど減額する動きがありますがGRIの値上げ幅の方が大きく運賃には反映できていない状況です。</p>
米国乳価状況	<p>米国ではCOVID-19の影響で学校やレストランが閉鎖しており乳製品の需要は減退し在庫過多により操業を中止する乳製品工場も出ています。この状況下多くの生産者で生乳の減産を強いられています。USDA（米国農務省）の発表によると4月の全米平均クラスⅢ乳価は国内及び世界的乳製品の需要減少を受け100ポンドあたり\$13.07と前月比20%下落しています。</p> 
ビートパルプ	<p>【米国産】 19年産ビートパルプの生産は概ね終了しています。唯一生産を続けているノースダコタ州ミンダック工場も5月上旬には終了する見込みです。20年産は現在各地域で播種が進められています。主産地であるノースダコタ州レッドリバーバレー地区では雪解けや天候不順により、播種の進捗が遅くなっており、その他の地域では3割～9割までの進捗となり播種の状況に大きな差が出ているものの、20年産のビートパルプの作付面積は昨年対比11,000エーカー程増加する見込みとなっています。</p>
アルファルファ	<p>【ワシントン州】 主産地コロンビアベースンではアルファルファの生育は順調に進んでいます。コロンビアベースン南部では一部の生産者で4月下旬から1番刈の収穫作業を開始しています。多くの生産者は5月上旬から中旬にかけて収穫作業を開始する予定で、順調にいけば6月から出荷開始される見込みとなっています。</p>  <p>◀ アルファルファ圃場 コロンビアベースン中部 5月上旬撮影</p>
	<p>【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズでは早乾傾向にあります。アルファルファの生育状況は例年並みとなっており、このまま順調にいけば6月上旬から収穫作業が開始される見込みです。オレゴン州中部クリスマスバレーも順調に生育しており6月中旬頃から収穫作業が開始される見込みとなっています。</p>
	<p>【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部インペリアルバレー及びアリゾナ州では1番刈の収穫作業が終了しております。インペリアルバレーでは3月下旬から4月上旬にかけて断続的な降雨があったため1番刈で雨当たりや刈遅れ、雑草混入の圃場が多く発生しています。収穫作業を中断せざるを得ない状況が続いたため、例年ではこの時期すでに3番刈の収穫を行っていますが、現在2番刈の収穫中と生産に遅れが出ている状況です。気温は4月下旬から上昇しており最高気温40℃近い日が続いているためアルファルファの分析は徐々に落ち始めています。産地の相場については高級品の発生に限られていることに加え、米国内の乳価下落に伴い引き合いは軟調であるため昨年同時比でやや弱含みで推移しています。カリフォルニア州北部ディクソンでは4月下旬から1番刈の収穫が開始しており作業は本格化しています。すでにベリングを終えた圃場もあり高成分品も発生しています。内需からの引き合いは低調な乳価の影響で例年に比べ弱いものの、繰り越し在庫がないため必要最低限の取引が行われています。相場としては昨年同期比でやや軟調に推移しています。他方でカリフォルニア中部から北部にかけてここ数年、アルファルファから水の要求量が少なく相場の良いアーモンドへの転作が顕著であるためアルファルファの生産量が減少しています。今後の作況次第では相場が盛り返す可能性もあるため注視が必要です。</p>   <p>▲ 1番刈アルファルファ 北カリフォルニア州産 5月上旬撮影</p>
チモシー	<p>【米国産】 生育状況は現在のところ順調で、主産地であるコロンビアベースンでは5月下旬から、エレンズバーグでは6月上旬から1番刈の収穫が開始する見込みです。産地のサプライヤーによると作付面積についてはエレンズバーグでは例年並みの28,000-30,000エーカーと予想されていますが、コロンビアベースンでは昨年相場が下がりチモシーからの換金作物に転作されたことや、播種後の強風によりチモシーの作付けが成功しなかったことで前年比25%減少の60,000エーカー程度の作付けになると予想されています。</p>
	<p>【カナダ産】 20年産の作付面積につきましては、19年産とほぼ同水準になると予想されています。19年産の出荷は順調で需要についても日本及び韓国を中心に強い引き合いがあり繰り越し在庫なく20年産に移行することが見込まれています。</p>
スーダングラス	<p>主産地であるインペリアルバレーでは春先の冷涼な気候と降雨により、播種の進捗が例年より3週間ほど遅れています。産地灌漑当局の発表によると4月1日付けの作付面積は10,831エーカーと低調でした。その後盛り返しを見せ5月1日時点では34,416エーカーと昨年並みの面積まで回復しています。20年産の収穫については早い圃場で5月中旬頃から開始される予定ですが、播種の遅れの影響を受け6月から作業は本格化する見込みです。</p>
クレイグラス	<p>クレイグラスは全酪連の登録商標です。 産地灌漑当局の発表によると4月15日付けの作付面積は22,176エーカーと過去最高であった19年産よりも増加しており昨年同期比109%と伸長しています。産地では20年産1番刈の収穫が開始しています。スケジュールの早い生産者では4月中旬より収穫を開始しており、すでに1番刈の60%ほどベリングを終えています。作況は生育期の多雨により多くの1番刈で雑草混入が見られ作付けが増加しているものの良品の発生は限定的となる可能性があります。一部で19年産の低級品の在庫がまだ散見される事や作付面積の増加を鑑みると今後の日本及び韓国の需要及び作付次第では、産地価格が弱含む可能性があります。</p>
ストロー類	<p>USDA（米国農務省）発表の20年オレゴン州のライグラスとトルフェスクの総作付面積予測は、329,000エーカーとなっています。19年の331,000エーカーからわずかに減少する見込みとなっています。繰り越し在庫も限定的であるため産地相場は堅調に推移しています。</p>
オーツヘイ／ウィートストロー	<p>【蒙州産】 東蒙州では播種がスタートしています。東蒙州～南蒙州では播種前に潤沢な降雨があったため、適度に土壌水分を含んでおり恵まれた播種期を迎えています。西蒙州も同様播種をスタートしていますが、こちらの地域では播種前に降雨がなかったことから、乾燥した状態の土壌で播種が始まっています。直近雨予報が出ており産地に潤沢な降雨をもたらすことが望まれています。</p>
蒙州コンテナ船情勢	<p>経済の減退を受け蒙州への本船の運航キャンセルが多く見受けられ、船腹は逼迫しており船積み予約が取り辛い状況です。空コンテナ不足が一部の地域で発生しており、船積みスケジュールに合わせるためにサプライヤーによっては他の港からコンテナを横持ちし出荷の準備をしています。またCOVID-19の影響で国内外のサプライチェーンが乱れており、作付けを前に産地の一部の生産者によっては除草剤や肥料など生産資材調達に滞りが見られています。</p>



デザート



奥中山アイスSセット

税込 **4,439 円** (本体 4,110 円)

- 4種 (バニラ、ブドウ、洋なし、イチゴ) 各130ml×各2個
- 〈アレルギー物質〉乳 / 卵
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

奥中山アイスIセット

税込 **5,735 円** (本体 5,310 円)

- 6種 (バニラ、ブドウ、洋なし、イチゴ、コーヒー、抹茶) 各130ml×各2個
- 〈アレルギー物質〉乳 / 卵
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 短入可

岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。SセットとIセットの2種類のセットをご用意しております。

〔製造者〕 奥中山高原農協乳業株式会社 (岩手県二戸郡)



長崎カステラセット 2本入り

税込 **3,024 円** (本体 2,800 円)

- 牛乳風味 370g × 1本
- チーズ風味 370g × 1本
- ※ 10等分カットタイプ
- 〈アレルギー物質〉小麦 / 乳 / 卵
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

長崎カステラセット 3本入り

税込 **4,104 円** (本体 3,800 円)

- 牛乳風味 370g × 1本
- チーズ風味 370g × 1本
- 蜂蜜風味 370g × 1本
- ※ 10等分カットタイプ
- 〈アレルギー物質〉小麦 / 乳 / 卵
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

全 善名入れ可

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。

〔製造者〕 有限会社杉谷本舗 (長崎県諫早市)

酪王アイスギフト 12個セット

税込 **4,860 円** (本体 4,500 円)



- 3種 (酪王カフェオレ、酪王いちごオレ、酪王牛乳) 各120ml×各4個
- 〈アレルギー物質〉乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 短入可

酪王カフェオレアイスクリーム、酪王いちごオレアイスクリーム、酪王牛乳アイスクリームが4個ずつあったアイスギフトセットになります。

〔製造者〕 酪王乳業株式会社 (福島県郡山市)

飛騨アイス・ロールケーキセット

税込 **5,200 円** (本体 4,814 円)



- 3種 (バニラ、ストロベリー、チョコレート) 各120ml×各2個
- 飛騨ミルクロールケーキ 340g × 1本
- 〈アレルギー物質〉乳 / 卵 / 小麦 / 大豆 / ゼラチン
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 簡易 短入可

飛騨産の生乳・生クリーム・岐阜県産の特産品や選り抜いた素材を使用した贅沢なアイスクリームと濃厚な味わいのロールケーキの冷凍詰め合わせです。

〔製造者〕 飛騨酪農農業協同組合 (岐阜県高山市)

ハケ岳野辺山高原 レアチーズケーキギフト 12個入り

税込 **3,600 円** (本体 3,333 円)



- プレーン 68g × 12個
- 〈アレルギー物質〉乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

全 短入可

コクのあるまるやかな味のレアチーズケーキに仕上げました。風味豊かな高原のさわやかなデザートをお楽しみください。

〔販売者〕 株式会社ヤツレン (長野県南佐久郡)

地卵はちみつぶりん 9個入

税込 **3,456 円** (本体 3,200 円)



- 地卵はちみつぶりん 90g × 9個
- カaramelソース 7g × 9袋
- 〈アレルギー物質〉卵 / 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

簡易 短入可

久住山麓で平飼いで育てられた赤鶏の地卵とはちみつを使った濃厚でなめらかなプリンです。

〔製造者〕 株式会社菊家 (大分県由布市)

2種クリームわらびもち詰合せ

税込 **3,543 円** (本体 3,280 円)



- クリームわらびもち 6個 318g
- コーヒークリームわらびもち 6個 318g
- 〈アレルギー物質〉乳 / 大豆
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 短入可

もっちり食感とつるりとしたのどごしのわらびもちです。ミルク風味豊かなホイップクリームとコーヒー風味のホイップクリームが塩こしあんとな相性抜群です。

〔製造者〕 大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)

生どら 12個詰め合わせ

税込 **3,000 円** (本体 2,777 円)



- 生どら 4種 (小倉・抹茶・みかん・いちご) 各65g × 各3個
- 〈アレルギー物質〉卵 / 小麦 / 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 全 善名入れ可

しっとりやわらかな生地でホイップクリームをたっぷり包んだ洋風どら焼きです。4種のフレーバーがクリームと混ざりあい、ひんやりとやさしい口どけが楽しめます。

〔製造者〕 有限会社杉谷本舗 (長崎県諫早市)

ZENRAKU Summer Gift 2020

畜産品

東毛酪農カマンベールチーズ3個セット

税込 **3,111 円** (本体 2,880 円)



- カマンベールチーズ 100g × 3 個
(アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



おいしいチーズを造るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ(ナチュラルチーズ)を熟成した食べ頃の状態まで密封パックしました。パッケージを開けた時が「食べ頃」で、やさしい味わいが楽しめます。

【製造者】東毛酪農協同組合 (群馬県太田市)

らくのうまザース阿蘇ミルク牧場セット

税込 **5,184 円** (本体 4,800 円)



- あそ野プレーン(熟成チーズ) 100g
 - あそ野スモーク 100g
 - あそ野黒胡椒 100g
 - おつまみベーコン 60g
 - 馬蹄フランク 130g
- ※ギフトボックス(紙製)でお届けします
(アレルギー物質) 乳 / 豚肉 / 牛肉
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



阿蘇ミルク牧場で飼育している乳牛(ホルスタイン、ジャージー、ガンジー、ブラウンスイス、エアシャー)の乳をブレンドする事によりコクがあり口当たりのよい牧場自慢の乳製品とこだわりのミートをセットしました。

【製造者】らくのうまザース阿蘇ミルク牧場 (熊本県阿蘇郡)

全酪牛 焼肉セット

税込 **4,536 円** (本体 4,200 円)



- 産直牛(国産牛) 肩ロース 250g
 - 産直牛(国産牛) 内もも 250g
 - (アレルギー物質) 牛肉
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



生産者限定で作り上げた国産牛のおいしさを味わえるセットです。肩ロース・モモを焼肉に最適な厚さにスライスしてたっぷり詰め込みました。

【販売者】コープかごしま (鹿児島県鹿児島市)

全酪乳製品セット A

税込 **3,780 円** (本体 3,500 円)

- HFぬるチーズ 150g × 1
 - 全酪酪農家バター(加塩) 200g × 1 個
 - HFスライスチーズ 126g × 1 個
 - HF6Pチーズ 108g × 1 個
 - HFスモークチーズ 120g × 1 個
 - HFとろけるスライスチーズ 126g × 1 個
(らくのうまももギャラリー特選作品限定化粧箱入り)
- (アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



全酪乳製品セット B

税込 **5,400 円** (本体 5,000 円)

- HFスライスチーズ 126g × 1 個
 - HFぬるチーズ 150g × 1 個
 - HF6Pチーズ 108g × 2 個
 - HFとろけるスライスチーズ 126g × 1 個
(らくのうまももギャラリー特選作品限定化粧箱入り)
 - HFスモークチーズ 120g × 1 個
 - 全酪パウダーチーズ 70g × 2 個
 - 全酪酪農家バター(加塩) 200g × 1 個
(アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



全酪めんセット

(博多ラーメンとんこつ味・冷し中華)

税込 **3,980 円** (本体 3,685 円)



- 博多ラーメンとんこつ味 8 食
 - 冷し中華 8 食
 - (アレルギー物質) 小麦 / 魚介類 / ごま / 大豆 / 鶏肉 / 豚肉 / りんご
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



めんは小麦胚芽入りの多加水熟成麺です。スープは本格的なとんこつ味とレモン果汁を配合したさわやかな冷し中華がそれぞれ 8 食ずつつったセットです。

【製造者】江崎製麺有限公司 (福岡県筑後市)

麺

手延素麺島原「一刻物の極」

税込 **3,240 円** (本体 3,000 円)



- 細造り素麺 1 束 50g (乾麺) × 24 束
(アレルギー物質) 小麦
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31



伝統の手延技術の集大成、「細造り素麺」。この細さにしてこのコシの強さにきつとご満足いただけることでしょう。小麦の風味・旨味が豊かに広がる造りたての味が他に類をみない美味しさです。

【製造者】株式会社素兵衛屋 (長崎県南島原市)

畜肉

おこっぺハムギフト (OC-40)

税込 **3,909 円** (本体 3,619 円)



- 北海道フランク 220g × 1 個
 - 北海道認証ベーコン 80g × 1 個
 - あらびきウィンナー 110g × 1 個
 - ハーブウィンナー 135g × 1 個
 - 行者にんにくウィンナー 120g × 1 個
 - あらびきフランク 200g × 1 個
 - アレルギー物質 豚肉 / 乳
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

おこっぺハムギフト (OC-50)

税込 **5,184 円** (本体 4,800 円)



- ペッパーポーク 320g × 1 個
 - 北海道認証ベーコン 300g × 1 個
 - あらびきウィンナー 110g × 1 個
 - ガーリックウィンナー 110g × 1 個
 - バジリコフランク 240g × 1 個
 - あらびきフランク 200g × 1 個
 - アレルギー物質 豚肉
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

十勝若牛ギフトセット

税込 **6,480 円** (本体 6,000 円)



- 十勝若牛ロースステーキ 180g × 3 枚
 - 十勝若牛ハンバーグ 100g × 4 個
 - アレルギー物質 牛肉 / 小麦 / 卵 / 乳 / 大豆
- お取扱期間 6/15 ~ 8/31

冷凍 全 簡易 短冊 名入れ可

主原料の豚肉はすべて北海道産 100%。じっくりと熟成させる本来の製法で製造しております。

【製造者】株式会社オホーツククリーンミート (北海道紋別郡)

独自の早期肥育技術で生産される旨味豊かな赤身肉。脂肪の少ないきめ細やかな肉質が特徴で、ヘルシーながらジューシーな味わい。牛肉独特のクセを抑えつつも、お肉本来の旨味に満ちた柔らかな食感をお楽しみいただけます。

【製造者】株式会社十勝清水フードサービス (北海道上川郡)

SP-310

税込 **3,240 円** (本体 3,000 円)



- ももハム 310g × 1 個
 - ベーコン 280g × 1 個
 - アレルギー物質 豚肉
- お取扱期間 6/28 ~ 8/10 受注締切 7/24 まで

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

DLG-38G

税込 **3,780 円** (本体 3,500 円)



- 熟成乾塩ベーコン 80g × 1 個
 - チーズリヨナー 90g × 1 個
 - トマトオイル入りソーセージ 100g × 1 個
 - カンントリーロースト 72g × 1 個
 - フライシュケーゼ 80g × 1 個
 - アレルギー物質 乳 / 大豆 / 豚肉
- お取扱期間 6/28 ~ 8/10 受注締切 7/24 まで

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

SP-510

税込 **5,400 円** (本体 5,000 円)



- 熟成糸巻ロースハム 320g × 1 個
 - 焼豚 310g × 1 個
 - ベーコン 280g × 1 個
 - アレルギー物質 豚肉 / 小麦 / 大豆
- お取扱期間 6/28 ~ 8/10 受注締切 7/24 まで

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

昭和 34 年にドイツ人マイスターを招聘して本格的なハムづくりを始めてから 60 余年。時間と手間を惜しまず確かな目と技術でつくられる製品には、私たちの自信と誇りが込められています。

【製造者】大山ハムファクトリー株式会社 (鳥取県米子市)

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し (お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による) 扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普** **短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。
10. **名入れ可** マークの付いている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が入られます。商品によりスペースが異なり、全ての文字を入れられないこともございます。ご了承ください。

全国酪農業協同組合連合会

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ●本所 酪農部 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館 | TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025 |
| ●札幌支所 〒 060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター | TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769 |
| ●仙台支所 〒 980-0021 仙台市青葉区中央 1-7-20 東邦ビル 3F | TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384 |
| ●名古屋支所 〒 460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F | TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614 |
| ●大阪支所 〒 532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F | TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899 |
| ●福岡支所 〒 812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7F | TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313 |

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇄……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	38~45	⇄	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で103.9%、累計で104.8%、苫小牧管内月計で101.7%、累計で102.0%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩が中心となります。4月の管内乳牛市場相場が大幅に下落したため、5月市場の相場はやや値を戻す展開となりました。しかしながら、夏分娩が主となる6月の乳牛市場につきましては、再び相場が下がる展開を予想しております。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、オーダーがありましたらお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	67~77	↓	
	経産牛	45~55	↓	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	40~47	⇄	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.1%、累計で102.5%、中標津管内月計で103.8%、累計で104.0%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩が中心となります。5月の管内乳牛市場の平均価格はやや弱含みで推移したものの、中クラス以上の牛は一定の高値を維持しております。そのため、中クラス以上の購買を主とする庭先購買においては、夏分娩となっても価格は横這いで推移するものと思われま。庭先購買における腹別の価格動向といたしましては、F1腹・雌雄選別腹の価格差はなくなっており、和牛受精卵移植腹は軟調な動きを見せております。経産牛については、軟調に推移するものと思われま。
	初妊牛	72~82	→	
	経産牛	40~50	↓	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	40~47	⇄	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で102.7%、累計で103.2%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月分娩が中心となります。5月管内乳牛市場は他の地域同様に夏分娩の上場が多く、弱含みの相場となりました。6月においても、夏分娩の上場が主となるため初妊牛の価格と同様に、育成牛・経産牛につきましても、弱含みの相場になるものと思われま。また、管内の乳牛市場が6月から8月まで毎月1回の開催となり、市場の出品頭数が多くなることから、秋分娩までは相場が軟調に推移すると予想されま。初妊牛資源につきましては、F1腹・雌雄選別腹のどちらも例年通りの頭数は確保出来る状況となっております。
	初妊牛	70~80	↓	
	経産牛	45~55	↓	
道北管内	育成牛(10-12月令)	40~48	⇄	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.5%、累計で101.7%、北見管内では月計で103.1%、累計で103.2%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩が中心となります。夏分娩が中心となりますが、道内の新規・規模拡大需要が一定数いるため、相場としては前月並みで推移するものと思われま。資源としてはF1腹・雌雄選別腹ともに前年並みの確保が出来ると思われま。育成牛・経産牛の価格につきましては、引合いも落ち着いてきているため、やや弱含みで推移するものと思われま。情勢によっては急な相場変化もあり得るため、購買をご計画の際は早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	70~80	⇄	
	経産牛	42~52	⇄	
道内総括	育成牛(10-12月令)	40~50	⇄	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は102.8%、累計で103.1%の実績となっております。道内では夏季放牧も始まり、1番草の収穫もいよいよスタートする時期となって参りました。6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月分娩中心となります。各管内、夏分娩により軟調な相場が予想され、弊会庭先購買における中クラス程度の価格は、70万円台前半で推移するものと思われま。初妊牛の資源は十分確保出来るものと考えられま。腹別の価格差は無くなってきております。相場動向を注視しながら庭先選畜購買を中心に安定した搾乳用素牛を供給して参りますので、導入のご計画がございましたら、お早目に弊会担当者までご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	70~80	↓	
	経産牛	42~52	⇄	

今月の表紙

今月の表紙は「第10回酪農いきいきフォトコンテスト」(第48回全国大会にて開催)で応募頂いた作品『いっぱいおいしい牛乳を出してね』(兵庫県 木曾勝己氏 撮影)です。



令和2年6月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 6月号 No.657

- 編集・発行人 白鳥建樹
- 発行 全国酪農業協同組合連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

編集後記

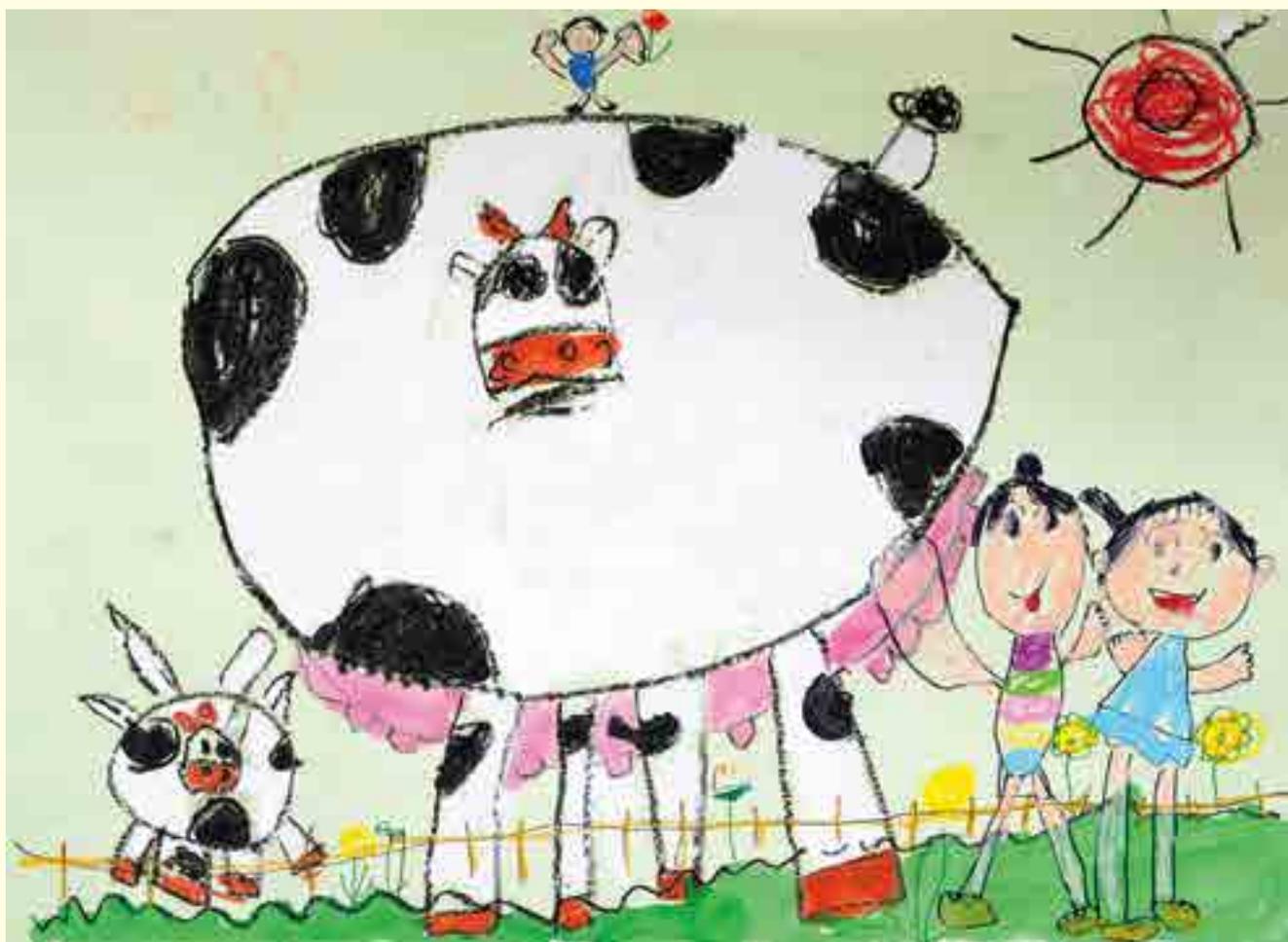
- 6月は「牛乳月間」です。「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンをはじめ、毎年各団体が全国でPR活動を行ってきました。今年はイベント開催等については制約があるかもしれませんが、SNSの活用等、様々な方法で、安心・安全な国産牛乳をPRしていきましょう。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



うしさんのおっぱいおおきいね!

認定こども園 慈光第二幼稚園(東北)6歳 星 さくら

今月の入賞作品は…

認定こども園 慈光第二幼稚園(東北)6歳の星 さくらさんの作品です。

まんまるい体の牛さんが正面から堂々と描けましたね。小さな牛さんや子供たちや太陽や花などに囲まれて元気のある絵です。お顔や体の斑紋、おおきなおっぱい、足のならびが子供らしく自由に描かれています。見るひとをおおらかな気持ちにさせてくれます。

